



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和4年5月20日 第5号 みなみ学園義務教育学校

あいさつで心をつなげよう～縦割り班あいさつ運動から～



社会で自立するために必要な規範意識や協調性を身に付けることを目的に、5月10日から12日まで、縦割り1～3班・4年生以上の児童生徒によるあいさつ運動が行われました。当番の子どもたちは、あいさつをすること、あいさつを返してもらえることのうれしさや充実感を味わえたと思います。本校児童生徒によるアンケートでは、「あいさつを進んで行っている」という項目について、あまり肯定的ではない意見が見られます。心をつなげる気持ちのよいあいさつを進んでできるよう、学校全体で取り組む必要性を感じています。

なお、縦割り4～6班は7月上旬、縦割り7～9班は11月上旬にあいさつ運動を行う予定です。お子様が何班なのか確認していただければと思います。当番の日はいつもより登校が早くなったり、登校班を抜けたり、また、必要に応じて朝送りの協力をお願いしたりすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。あいさつ運動が近づきましたら、マチコミメールで再度お知らせいたします。

「元氣なあいさつで学校がますます明るくなりますように」

美しい環境が美しい心を育てます～冬花壇から夏花壇へ～



生活環境委員会の皆さんが、朝の活動で、花の水かけをしたり、草抜きをしたりしています。先日は、冬の間私たちの目を楽しませてくれた「パンジー」にお別れし、夏花壇の準備をしました。サルビア、ポーチュラカ、インパチエンスなど、色とりどりの花が美しく咲いています。花壇を担当している高野先生は、友部中学校在職時代に、花壇コンクールで「県知事賞」を受賞し、なんと天皇陛下（現在の上皇陛下）ご臨席のもと、総理大臣表彰を受けたとのこと！（当時の天皇皇后両陛下のオーラがそれはそれは素晴らしかったとのこと）その高野先生が、本校でも力を発揮し、美しい花壇を作っています。来校の際は、ぜひ、花壇もお楽しみください。また、サツマイモやトウモロコシ畑も作ったとのこと、子どもたちが収穫を楽しみにしています。

いよいよ待ちに待ったスポーツフェスティバル (5/27) 開始時刻と種目名をお知らせします。

	【低学年ブロック】	【中学年ブロック】	【高学年ブロック】
開始時刻	9:50～	8:45～	10:55～
種目名	① ぜんりょくしっそう (徒競走) ② 「わ」をつなげ(全員リレー) ③ チェッコリ玉入れ	① 障害走 ② みなみタイフーン ③ 全員リレー	① 借り人競走 ② 威風堂々 (全員リレー) ③ みなみソーラン

5/14 (土) 笠間市長杯スナッグゴルフ大会で健闘！



↓ 3年生の鈴木悠生さんは堂々スコア 29！ベストスコア賞まであとひとがんばり！

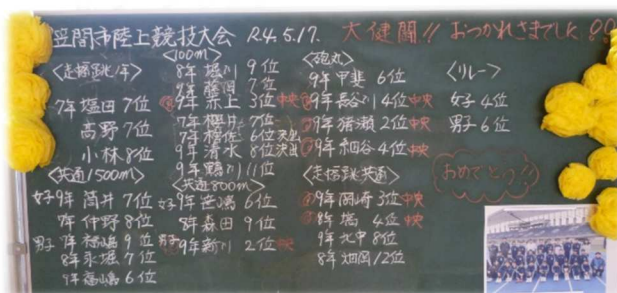


↑ 特別参加「ドリームチーム」の皆さんと



大会直前まで雨が続き、開催が危ぶまれましたが、お昼ごろから天気が回復し、第8回笠間市長杯スナッグゴルフ大会が、5月14日(土)午後3時にスタートしました。3年生から5年生までの6名が学校代表選手として大会に参加し、上位3名の合計ストロークで順位が決定しました。残念ながら、3位入賞や個人賞の受賞はなりませんでしたが、いままで練習してきたことを思い出しながら、真剣にプレーできたところがとてもよかったです。大会後、私は子どもたちに「皆さんは、『あの場面がよかったな、あの場面はもう少し頑張れたな。』と、いろいろ考えたと思います。そのことをしっかり反省して、6月の大会を迎えましょう。」という話をしました。その次の大会である茨城県A地区スナッグゴルフ大会予選会が、6月4日(土) 栄戸ヒルズで行われます。こちらにも全力応援！

笠間市総体陸上競技大会で後期課程生が躍動！



学校に戻ると、昇降口には、学校から応援してくれていた仲間から、温かいメッセージが・・・。



5月17日(火)、梅雨空の中、ケーズデンキスタジアム水戸で、笠間市総体陸上競技大会が行われました。学校代表として26名が参加しましたが、それぞれが自己ベストを目指して奮闘し、7名の選手が中央地区大会出場を決めました。中央地区大会は、5月26日(木)笠松運動公園陸上競技場で行われます。私は、学校を出発する朝、子どもたちに「去年のこの大会では、『元気』『勇氣』『やる気』をもって大会に臨むよう伝えましたが、今年は、『本気』も付け加えます。『まだやれたな。』という思いを残さないよう頑張ってください。」という話をしました。大会会場での子どもたちの「本気」には、しびれました。子どもたちは、力を出し切って頑張ったと思います。そして、競技も素晴らしかったですが、この日一日の関わり合いを通して、後期課程生の心がさらにつながったことも、うれしかったです。さらに、学校に着くと、昇降口には、選手のみみんなの健闘をたたえる温かいメッセージが……。子どもたちの心の成長も感じられる、忘れられない日になりました。

(文責：野尻)